TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

エフェソ人への手紙 — 恵みのスペクトル 霊的可塑性
エフェソの信徒への手紙 4 章 14–16 節

2026 年 3 月 7 日 & 8 日
ジェシー セザリオ 牧師

あいさつ
共に礼拝を捧げている皆さん、TBC ウエスト トウキョウ、TBC 三郷、スヴァ、そしてトンガ・バプテスト教会の皆さん、おはようございます。父なる神、また主イエス・キリストの恵みと平安が皆さんと共にありますように。
エフェソの信徒への手紙 4:14–16 「[14] こうして、私たちはもはや子どもではなくなり、人の悪だくみや、だまし惑わす策略によるどのような教えの風にも弄ばれたり、振り回されたりすることなく、[15] 愛をもって真理を語り、頭であるキリストへとあらゆる点で成長していくのです。[16] キリストによって、体全体は、支えとなるすべての節々でつなぎ合わされ、一つに結び合わされて、それぞれの部分は分に応じて働いて、体を成長させ、愛の内に造り上げられてゆくのです。」

祈りましょう

はじめに
パウロはこの章の冒頭で、私たちが歩むべき道について語り始めています。エフェソの信徒への手紙 4:1 「ですから、主の囚人である私は、あなたがたに勧めます。招かれたあなたがたは、その招きにふさわしく歩み、」
すべての信徒には、召し――神の召しがあります。
パウロにも神の召しがありました。パウロは自分の使命をよく知っていました。エフェソの信徒への手紙 3:8 には、彼の召しは、「キリストの計り知れない富を異邦人に告げ知らせ」ることだったと記されています。では、私たちはどうでしょうか。あなた自身はどうでしょうか。

パウロと同様に、私たちの召しも神から来るものです。そのように大きい召しを持つ者には、その召しにふさわしく歩むことが求められます。召しにふさわしく歩んでいる人の姿を思い浮かべてみてください。どんな姿でしょうか。
それは、霊的に成熟した者の姿を現す歩みです。

パウロはエフェソ人への手紙 4:13 で、成熟の青写真を示しています。
「ついには、私たちすべてが、信仰と神の子の知識において一つとなり、完全な者となって、キリストの満ち溢れる成熟した年齢に達するのです。」

そして、成熟とは、私たちが目指すべき人物の姿として描かれているものであり、完全な人、神の威厳を備えた人であり、そしてその人物こそイエス・キリストです。
そしてこれは、個人として達成するものではありません。皆が召されていて、パウロが言うように、「私たちすべてが、信仰と神の子の知識において一つ」となるためです。
完全に成熟した人、すなわちキリストに似ること―これは単にパウロだけでなく、教会全体としての私たち全員に求められる、召命の前提条件です。

パウロはエフェソ人への手紙 3:10 で、神の意図を明確に語っています。
「…今や、教会を通して、神のきわめて多様な知恵が、天上にある支配と権威に知らされるようになるためです…」
教会は、王なる主イエス・キリストの再来を世に告げる大宣教命令を委ねられた「大使館」です。
それが私たちの使命です。私たちはイエス・キリストの大使なのです。私たちはキリストの知識を持ち、キリストを代表する者としての姿を見せる必要があります。なぜなら、キリストにあって私たちは、世界と霊的領域に対する神の働きの傑作だからです。

未熟さの姿:子ども
「[14] こうして、私たちはもはや子どもではなくなり、人の悪だくみや、だまし惑わす策略によるどのような教えの風にも弄ばれたり、振り回されたりすることなく、」
14 節でパウロは未熟さの姿、つまり子どもの姿を示します。子どもは簡単に揺れ動いて、自分の考えを保つことが難しい存在です。子どもはすぐに反応します。子どもの弱さは、あちこちと振り回され、外部からの圧力に抵抗できないことです。

エフェソにおけるこの「外圧」とは何だったのか、正確にはわかりません。しかしパウロは、それがエフェソで起こることを予見しました。

使徒言行録 20:28～30 には次のように記されています。
「[29] 私が去った後、残忍な狼どもがあなたがたのところへ入り込んで来て群れを荒らすことが、私には分かっています。[30] また、あなたがた自身の中からも、邪説を唱えて弟子たちを従わせようとする者が現れます。」
パウロは外部と内部の二つのグループについて語っています。外部の者を彼は「狼」と呼びます。これは普通の狼ではありません。捕食者のように振る舞う「人狼」なのです。彼らは不満を広げ、教会を吹き飛ばすためにやってきます。「教えの風」とは、文字通りこれらの人々の息です。彼らは子どもたちを脅かし、信仰の土台を揺るがし、つながりを断ち切ることで体を「散らそう」としています。おそらく彼らは救われるためには割礼を受け、律法に従うべきと教えていたユダヤ主義者だったことでしょう。パウロはまた内部の脅威についても警告しています。おそらく彼らの意図は良かったでしょうが、聖さや聖別について誤った見解を持っていました。

パウロはテモテへの手紙一 6:3～5 でこう語っています。
「[3] 異なる教えを説き、私たちの主イエス・キリストの健全な言葉にも、敬虔に適う教えにも従わない者がいれば、[4] その人は気が変になっていて、何も分からず、議論をしたり言葉の争いをしたりする病気にかかっているのです。そこから、妬み、争い、冒瀆、邪推、[5] 果てしのないいがみ合いが生じるのです。これらは、知性が腐って真理を失い、敬虔を利得の道と考える者たちの間で起こるものです。」

子どもは怖がらせやすいものです。もっともらしく聞こえるなら、何でも信じてしまいます。
小さい頃、「寄り目にするのやめなさい。そのままくっついて動かなくちゃうよ。」と言われたことはありますか？それは嘘です。「指の関節を鳴らすと関節炎になる」と言われましたか？それも嘘です。「テレビに近づいて見ると視力が落ちる」と言われましたか？これも嘘です。そして、サンタクロースはどうですか？サンタは悪い子にプレゼントを何もあげないと言われた方はどれくらいいますか？それも嘘でした。 親御さん、ごめんなさい！

しかし、ここに真理があります。テモテへの手紙一 6:5 の言葉のみを引用します。「知性が腐って真理を失い、敬虔を利得の道と考える者たち」に耳を傾けてはなりません。
これがおそらくエフェソの状況です。なぜなら、テモテへの手紙一はこのように始まっているからです。「私がマケドニアに行くときに頼んでおいたとおり、あなたはエフェソにとどまって、ある人々に、異なる教えを説いたり、作り話や切りのない系図に心を奪われたりしないように命じなさい。」(1:3)

悪い教えとは「無意味な詮索」(テモテへの手紙一 6:5)であり、実際には分裂を意味します。そのようにして地位を守り、給与をもらい、影響力を保つためです。彼らにはそれ以外に何もないからです。
聖書が抽象的な推論として、あるいは合理的な論理によって教えられるとき、その教えは、真理を失ったものとなり、構造的に脆弱になります。それが未熟さ、すなわち霊的な幼さを生み出します。
霊的な幼さとは、信仰の真理ではなく理屈が先立ってしまう、騙されやすく無防備な心の姿勢です。信仰なしには、行いによって生きるよう人を説得する人狼の「息」の餌食になりやすくなります。その行いが宗教的な行いであれ、キリストではなく誇りや伝統に根付いた間違った善行であれ、同じことです。

ここに、適用のための問いがあります。あなたの信仰はイエスを信じることだけに基いていますか？
少し簡単に問い直してみましょう。あなたをクリスチャンにしたものは何ですか？(信仰)　あなたをクリスチャンであり続けさせているものは何ですか？(信仰)
あなたを救ったものは何ですか？あなたの救いを保つものは何ですか？

パウロ自身の適用の問いを引用しましょう。
ガラテヤの信徒への手紙　3:2-3「[2]…あなたがたが霊を受けたのは、律法を行ったからですか。それとも、信仰に聞き従ったからですか。[3]あなたがたは、どこまで愚かなのですか。霊で始めたのに、今、肉で仕上げようとするのですか。」
信仰だけによって生きるとき、彼らはあなたに提供できるものが何もなくなります。彼らの本を買う必要も、彼らのプログラムを購入する必要も、彼らの動画を見る必要も、時間を無駄にする必要もありません。信徒として、あなたは信仰によって救われています。あなたは選ばれ、赦され、贖われ、養子として迎えられ、義とされ、律法から解放され、あらゆる霊的祝福を所有しています。闇の力から解放され、神に属し、和解していただき、神の子どもとして、今や天の領域における御国の市民となっています。

あなたには印としての神の御霊が与えられており、その方は今やあなたの内に住んでいます。そして今、永遠のいのちを所有しています。つまり、今もそして永遠に喜びを持つことができ、持つべきなのです。
信徒のみなさん、これがあなた方です。これこそが信徒として、常に心の中に持ち続けるべきことです。

このアイデンティティこそあなた自身です。あなたの名刺、バンパーステッカー、タトゥー、文化、国籍、血と命です。あなたは神の子どもです。イエス・キリストの大使として、キリストの代わりに遣わされています。

ここが適用です。信仰によって、イエス・キリストにある自分の姿にふさわしく歩むことです。
あなたは自分が誰であるか知っています。それにふさわしく生きる覚悟はありますか？

再構築：霊的可塑性
「[15]愛をもって真理を語り、頭であるキリストへとあらゆる点で成長していくのです。」
新約聖書の中でパウロは、おそらく五回以上、苦闘している信徒たちに、彼らの短所にもかかわらず、キリストにある自分たちのアイデンティティを伝えています。これらは霊的に子どもっぽいメンバーを抱える教会への手紙です。
一つの例はコロサイの信徒への手紙で、パウロは律法主義と「無意味な詮索」に気を取られていた信徒たちを正しています。
彼は彼らの以前の罪を列挙し、まるで彼らがまだ罪の中にいるかのようにこう言います。
コロサイの信徒への手紙 3:7-8「[7] あなたがたも、以前このようなものの中に生きていたときは、そのように歩んでいました。[8]しかし今は、そのすべてを、すなわち、怒り、憤り、悪意、冒瀆、口から出る恥ずべき言葉を捨てなさい。」
これは新約聖書における「直説法(事実)と命令法(命令)」の緊張と呼ばれます。パウロはすでにクリスチャンである人々(直接法)に向けて、クリスチャンらしく行動し始めるように(命令法)書いています。彼は本質的に、彼らの葛藤はアイデンティティの危機だと論じています―彼らはすでに「大使」とされているのに、まるで「地元の人」や異邦人のように振る舞っているのです。

これは「行って弟子を作り、従うように教えなさい」という大宣教命令とも同じパターンです。従順になる前に、まず弟子となるのです。

この同じパターンが 15 節にも見られます。キリストはかしらですが、体である子ども―教会はまだ幼く未熟です。なぜなら、子どもはまだ学んでいる途中であり、子どもらしい間違いを犯し続けているからです。しかし集合的には、私たちはキリストの体であり、すでに完全なかしらへと成長していっています。この成長は自然界とは逆向きです。

生物学的には、脳は最後に成熟します。人間の脳が完全に発達するのは 30 代になってからです。これを神経可塑性と呼びます。しかしキリストにあっては、すでに成熟しているのはかしらの部分です。 キリストの体にとっての霊的成熟とは、バラバラで調和のとれていない体の各部分が、キリストの心に追いついていく過程です。

成熟とは霊的可塑性です。 体の中で接続が形成され、協働が生まれることです。それは私たち自身(習慣、反応、行動パターン)をキリストの心に合わせて再配線することです。こうして、私たちは「かしら」に応答するようになります。
キリストに似る過程へと導く霊的可塑性は、実際には二つのことから始まります。それは「真理」と「愛」です。

神がどのように教えるかの秘密を知りたいなら、これがその秘密です。肉体を持った神、キリストは、愛をもって真理を教え、真理をもって愛を教えました。両方が必要であり、両方が彼から流れ出ていました。
新約聖書において、「教義(ドクトリン)」は特別な言葉です。人々はそれを哲学や神学のことだと思っています。

しかし教義とは、私たちがどう行動すべきかの教えです。哲学や神学の教えではなく、生き方のマニュアルです。それは私たちを成熟へと導く真理です。
教義は福音とは異なります。
福音は「理由」と「なぜ」を与えます。教義は「方法」と「どのように」を与えます。

古代において、教義はメンターや教師から来るものでした。これらの教義は、師がしていることをできるようになるための実践マニュアルでした。
弟子となった者は、師のようになるためにその教義に従いました。
そして学び従う中で、あなたは自分自身の理解をもって師が知っていることを知るようになります。師と同じように考え、師と同じことができるようになります。

そしてパウロはこの章の後半で、こう命じています。
エフェソの信徒への手紙 4:23-24「[23] 心の霊において新たにされ、[24]真理に基づく義と清さの内に、神にかたどって造られた新しい人を着なさい。」
これが聖書的な霊的可塑性です。どんな年齢であっても、どんな人でも、どれほど罪深くても可能です。あなたは変われます。あなたの思考方法は変えられます。

これが福音の力でもあります。
信仰に至ると、あなたの心は新しくなり、キリストの心に形作られる準備ができた柔らかな粘土のようになります。だから変わることができるのです。
ここに信徒のための次の適用があります。新しくなり、変わることです。

これを聞いて「おかしい」と思わないなら、むしろその方がおかしいのです。なぜなら、これだけではうまくいかないからです。
キリストにあって形成可能な心を持つ私たちが、どうすれば「新しいものを着る」ことができるでしょうか。
まず何をしなければならないでしょうか。
「古いもの」を脱ぎ捨てる……（エフェソの信徒への手紙 4:22）ですよね？
「古いもの」を脱ぎ捨てることが、新しいものを着るより先になされなければなりません。これは避けられない命令です。これなしには、新しいアイデンティティを体現することは不可能です。

ある男が家業から帝国を築いたと想像してください。その会社は小さな事業から始まり、早い段階で世界規模になり、大成功を収めました。40年以上にわたって成功を続けてきたその会社には、取締役会、複数の副社長、マネージャー、様々な部門があります。

そしてある日、社長である父が、自分の息子に会社を譲ることを決めました。物静かな息子は何年も父のそばで仕事を学んでいました。役員ではありませんでしたが、常にそこにいて、父のオフィスの隣に小さなオフィスまで持っていました。そしてある日、ゴルフウェアを着た父が微笑みながら、会社のロゴと息子の名前、そしてその下に「社長」と書かれた名刺の束を息子に手渡しました。息子が父のオフィスを見ると、そこはすでに片付けられていました。
もし息子が今まで通りの働き方、振る舞い方を続けたらどうなるでしょうか？脇のオフィスに留まり、役員会議を欠席し、名刺を出さず、カジュアルな服装で、敷地の端に車を停めたままにしていたら？会社は崩壊していくでしょう。
問題は何でしょうか？彼はまだオフィスアシスタントのように生きているのです。肩書きも、給与も、特権も、オフィスの鍵も持っているのに、古い習慣の中で生き続けているのです。

神の子どもとして、私たちは全員「御国の大使」と書かれた名刺を持っています。これがあなたです。あなたはキリストにある新しいアイデンティティを持っています。そしてそれは高い地位です。
何もそれを変えることはできません。それが直説法（事実）です。あなたは「御国の大使」です。
さて、これが命令法（命令）です：その通りに行動し始めなさい。

神の誠実さと愛の文化を周囲のすべての人にもたらし、主の日が近いという真理を語りるのです。
フィリピの信徒への手紙 2:4-7「[4] めいめい、自分のことだけではなく、他人のことにも注意を払いなさい。[5] 互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにも見られるものです。[6] キリストは神の形でありながら神と等しくあることに固執しようとは思わず [7] かえって自分を無にして僕の形をとり人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ」

キリストに倣って生きましょう。
時には保ち続けることが難しいとわかっています。しかしパウロはこんな希望を語ってくれます。
コリントの信徒への手紙二 4:16「だから、私たちは落胆しません。私たちの外なる人が朽ちるとしても、私たちの内なる人は日々新たにされていきます。」
ここでの希望は特に「日々新たにされていきます」という言葉にあります。なぜなら、私たちを日ごとに新たにしてくださるのは神ご自身だからです。
私たちの役割は、信仰を保ち続け、新たにされながら前へ進み続けることです。

ムーブメント：始めの一歩
エフェソの信徒への手紙 4:16「キリストによって、体全体は、支えとなるすべての節々でつなぎ合わされ、一つに結び合わされて、それぞれの部分は分に応じて働いて、体を成長させ、愛の内に造り上げられてゆくのです。」
これは成長の公式です。教会成長の公式です。そして TBC が成長する公式です。

子どもが 11～12 歳の思春期前期を迎える頃、最初の実存的危機を経験するのをご存知ですか？この時期、子どもは「私はなぜここにいるの？」「人生の意味は何？」「なぜ神は私を造ったの？」と問い始めます。
私たち皆がこの段階を経験します。これは精神的発達の正常な部分です。そして教会もこれを経験するように思えます。こんなふうに起こります。ミニストリー、プログラム、エンターテインメントを優先するうちに、方向性を見失ってしまいます。これらは間違ったものではありませんが、これらを優先することが実存的危機につながります。毎回そうです。教会は本来の召しから外れたものに存在意義を置き始めてしまいます。

パウロの書簡は興味深いです。クリスチャンに対してクリスチャンらしく行動するよう告げる直説法と命令法と同様に、パウロは自身の教えにも同じものを織り込んでいます。
パウロは召された者として、召された者たちに、使命を果たすよう語っています。
フィリピの信徒への手紙 3:13-14「[13]…なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、[14] キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」
これらのことを語るのは、自慢するためではありません。パウロはこれらのことを語ることで、私たちがそれを受け入れ、全うして生きることを望んでいます。
教会はキリストにある新しい命を持っています。そして体としての教会には、新しい頭、キリストご自身を持つことで、新しい思考方法と行動方法があります。
私たちの存在の目的、東京バプテスト教会のミニストリーの最終目標は、ミニストリーでも、コンサートでも、交わりでも、クラスでも、祈り会でも、リトリートでも、建物でも、学びでも、スモールグループでも、礼拝でさえもありません。

ここに目標があります：**コリントの信徒への手紙一 11:1**「私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者となりなさい。」
みなさんが前もそう言われたことがあるのは分かっています。しかしそれは「良い子でいなさい」という意味ではありません。そういう考えが実存的危機を招きます。
キリストに倣うことは、キリストの体が神の愛で満たされる時に起こります。そうすると私たちはキリストのようになり、人々が去ってしまう前に愛をもって真理を語るようになります。

教会としての TBC にとって、大宣教命令よりも重要なものは何もないということを意味します。
そしてこれが**エフェソの信徒への手紙 3:9-10** でパウロが語る「秘儀」です。
ユダヤ人信徒と異邦人信徒が――かつては敵同士であった者たちが――互いに愛し合い、共にイエス・キリストのために人々に手を伸ばすようになるとき、それは彼らの周りの人々から、天上の支配と権威に至るまで、すべてに影響を与えます。そしてそれはからし種のように地面から育っていくのです。

これが意味することは何でしょうか。私たちは互いに助け合う必要があるということです。
それが時間であれ、資源であれ、祈りであれ、つながりであれ、励ましであれ、神がそうしてくださったように、私たちも互いを助け合う必要があります。
エフェソの信徒への手紙 5:1-2「[1] ですから、神に愛された子どもとして、神に倣う者となり、[2] 愛の内に歩みなさい。キリストも私たちを愛し

て、ご自分を宥めの香りの供え物、また、いけにえとして、私たちのために神に献げてくださったのです。」

私たちはこれを一つの目的のために行います。教会の外でも中でも、主イエスを代表する者として生きるためです。なぜなら今こそ、私たちの教会が教会らしく、私たち各々がその働きをする時だからです。
コリントの信徒への手紙二 5:20「こういうわけで、神が私たちを通して勧めておられるので、私たちはキリストに代わって使者の務めを果たしています。キリストに代わってお願いします。神の和解を受け入れなさい。」
まず信仰によって互いを愛し、そしてキリストの模範に倣って、私たち全員のために自らを捧げてくださった方を模倣しながら、福音をもって世界を愛しましょう。
ここに大きな適用があります：自分のアイデンティティを知り、それにふさわしく行動し、キリストに従いなさい。

招き
イエスは言われました。「私は世の光である。私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ。」
そのようなものを望みませんか？
イエスは単なる光以上のものを与えてくださいます。「命の光」です。それはすべてのものの刷新―古から新へ、アイデンティティから目的へ―の変革です。そしてそれは単なる無限の命としての永遠の命以上のものです。
イエスはヨハネ 17:3 でこう言われています。「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。」
これが差し出され招きです。つまり、キリストを知ることです。

しかし 17:3 の「知る」という言葉は特別です。ギリシャ語の「ginóskó」という言葉から来ており、はるかに深い意味があります。「知る」や「認識する」を意味することが多いですが、しばしば親密な仕方での「一体となる」ことも意味します。ヘブライ語の「yada」―男女の親密な結合―に近いものです。
キリストを信じるとき、驚くべきことが起こります。
あなたがキリストの中に入り、キリストがあなたの中に入ります（ヨハネによる福音書 17:23）。
そしてここにあるすべてを超えた新しい体による新しい誕生があります。疲れず、病まず、決して死なない体です。

ルカによる福音書 20:36
「この人たちは、もはや死ぬことがない。天使に等しい者であり、復活の子として神の子だからである。」
そして永遠に、満ちあふれる喜びがあります（詩篇 16:11）。

喜びは今日、イエスと共に始まります。
ただ信じてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg1026jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 201
霊的に成長するために
3 月 15(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了した TBC メンバーの方

★クラス 301
賜物発見クラス
4 月 12(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 201 まで修了した TBC メンバーの方

★クラス 210
スモールグループについて知ろう！
4 月 19(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes